

MonotaRO REPORT 10

第10期 年次報告書

平成21年1月1日～平成21年12月31日

トップインタビュー

10期 決算概況と次期見通し

積極的な新規顧客開拓が業績に貢献



「東証1部」へ市場変更

新たに11万口座!登録口座数45万を達成
掲載商品数1万4000点!工事業向けカタログを創刊

新連載 モノタロウ MonotaROが行く!

◎ゆるキャラ®まつりin彦根 ◎第4回ゆるキャラ®カップin鳥取砂丘

株式会社 MonotaRO

証券コード:3064



社会に求められる 「新しい価値」の提供を通じて 間接資材業界の デファクトスタンダードを目指します。

MonotaRO

株主の皆様におかれましては、益々ご清栄のこととお喜び申し上げます。
ここに、第10期(平成21年1月1日～平成21年12月31日)の事業概況をご報告させていただきます。

→第10期(2009年12月期)の決算概況をお聞かせください。
新規顧客の獲得が寄与し売上は増加
収益は減少したものの計画内での推移

当期におけるわが国の経済状況は昨年に引き続き停滞基調で推移し、工場用間接資材業界においても、依然、稼働率の低下などが続き、既存顧客の当社への発注数量は減少しました。既存顧客の売上が伸び悩むなか、積極的にプロモーション活動を展開し、新たな顧客の獲得に注力。その結果、既存顧客のマイナス分を補うことができ、2009年12月期の売上高は14,209百万円(前期比1.0%増)となりました。

代表執行役社長
瀬戸欣哉

一方、営業利益は910百万円(同22.1%減)、経常利益は878百万円(同26.5%減)、当期純利益は495百万円(同55.8%減)となり、前期と比較すると増収ながら減益という結果になりました。

これは、新規顧客開拓に向けた積極的なプロモーションへの投資、及び需要減退に伴う注文単価の下落によるオペレーションコストの効率低下が要因としてあげられます。新規顧客獲得とまとめ買いを促進することなく購買頻度を保つことを優先することは、景気回復時の飛躍につながる施策であり、将来への確かな布石が打てたと認識しています。

当社は、8月に自己株式の取得と消却を行いました。これにともなって実現した株主価値の拡大を実感していただくため、当初予測より5円増配し、1株あたりの期末配当を30円とさせていただきました。来期も安定的な配当を継続できるよう努めてまいります。

→どのような取り組みを実施されましたか。
ターゲットごとに応じたプロモーションを展開し
登録会員数は45万口座に到達

まず環境的な側面として、前年度から今年度にかけて自動車アフターマーケット、工事業向け間接資材の市場に参入したことにより事業分野が広がり、これによって収益基盤が拡大しました。これを背景に、コスト効率が高いインターネット上での広告宣伝に当社のリソースを投入。活発なプロモーションを展開した結果、11万口座もの新規顧客を獲得することができました。この実績やノウハウをベースに今後も着実に増加させていけると考えています。

いったん獲得した顧客に対して重要なのが、顧客一人ひとりに応じたプロモーションです。当社ではデータマイニングツールや

販促キャンペーンの支援システムを駆使し、新規顧客をリピーターへと育てていくための取り組みを精力的に行っています。その一環として10月にはカタログを商品カテゴリごとに5冊に分冊化。顧客ごとに必要なカタログだけを抽出して送れるようになりました。顧客側からは自分に必要なカタログだけが届くことで無駄を省くことができ、同時に、当社側ではコストパフォーマンスの最適化につながります。

サイトにおいてもカタログの分冊・再編に合わせたリニューアルや利便性向上に取り組みました。これらの結果、当期末時点での登録会員数は45万口座に達しました。

→第11期の市場環境と業績見通しを教えてください。
不況を追い風にして収益基盤のさらなる拡充に取り組む

来期においても景気の不透明感は継続すると見ていますが、景気低迷は当社にとっては必ずしも苦境ではありません。それは、平常時は間接資材の仕入先はしがらみなどもあり簡単に替えることはできませんが、厳しい時期には見直しが図られるからです。当期はその動向が顕著に表れて大幅な新規顧客獲得につながり、ほとんどの同種商品取扱他社が売上高を落とすなか、当社は昨年ベースを維持することができました。来期以降も、不況といういわば“追い風”を味方にして新規顧客の獲得に邁進し、長期にわたる収益基盤の拡充を目指します。

このような施策を進めるなかで、2010年12月期の売上高は16,607百万円(前期比16.9%増)を計画しています。利益面では引き続き新規顧客獲得のためのプロモーション費用などが増加するため、営業利益は1,150百万円(同26.4%増)、経常利益は1,150百万円(同31.0%増)、当期純利益は650百万円(同31.4%増)を見込んでいます。

→どのような戦略をお考えですか。

以下の5つのポイントに焦点をしばらく取り組んでいきます。

(1)新規顧客の獲得

積極的なプロモーションを展開し、新規顧客の月間獲得1万口座を目指します。

(2)プライベートブランド商品、輸入商品の強化

産業資材に関してはプライベートブランド商品導入までのハードルは高いのが実情です。これは「買う人」と「使う人」が違うため、その判断プロセスが複雑になるからです。しかし、根本的なコスト見直しにプライベートブランド商品が大変有効なのは自明であり、当社はコストダウンに挑む顧客に対して、価格と質、両面において役立つ商品の提供でお応えしていきます。

(3)工事業向け商品の拡充

新たに専用カタログを発行した工事業向け商品群に、電気工事、水道工事などに関わる商品を充実させていきます。当社の顧客は小規模な建築業者や工務店が中心です。そこから求められる細部にまで行き届いた豊富な品揃えを実現し、他社との差別化と顧客の囲い込みを図っていきます。

(4)One to Oneマーケティングの深化

顧客ごとの的確なプロモーションを実施していくことは、当社の継続した課題であります。プロモーションの個別化を推進し、顧客満足度のさらなる向上を目指します。

(5)クラウドコンピューティング・ソーシングの活用

膨大に増えていく顧客に対して最適な One to One マーケティングを実現するために、クラウドコンピューティングやクラウドソーシングといった革新的な開発ソリューションを活用。顧客規模の拡大にあわせて柔軟に対応し、低コストでスピーディな開発体制を構築していきます。

→株主の皆様へメッセージをお願いします。

「価値ある商品」の提供で社会に貢献

不況が長引くということは、これまでのやり方が通用しなくなっている、つまり変革が求められているとも言えます。だからこそ当社のような新しい価値を提案する企業にとっては、またとない好機でもあるのです。

多くのものづくりの現場が困難な状況にあるなか、適正で公平な価格、高い利便性で間接資材を供給し、日本の産業全体を支えていく。それこそが当社の使命であると考えています。これを遂行する過程で利益を得て、株主様に還元していくこと。当社設立から10年。こうして成長を続けていけるのは、この営みによって社会における存在価値を全うできているからだと考えています。

「間接資材といえばMonotaRO」という認識の拡大と定着を追い求め、これからも業界のデファクトスタンダードを目指して邁進してまいります。株主をはじめステークホルダーの皆様におかれましては、より一層のご支援・ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

「間接資材といえばMonotaRO」に。
これからも挑戦を続けていきます。

執行役メッセージ

商

品部門を担当しています室大二郎です。2009年度におきましては、自動車整備、工事業界向けの商品の採用に注力し、大幅に販売点数を拡大。さらに10月に発刊した分冊カタログでは価格訴求品を中心に掲載商品を増やしました。その結果、各商品分類において大きくユーザー数、売上、顧客の購入商品点数を伸ばすことができました。2010年度も引き続き価格訴求品、自動車整備・工事業向けの商品を中心に採用を進めていきます。今後ともMonotaROに皆様方のご支援、ご指導を賜りますよう、何卒よろしくお願い申し上げます。

常務執行役商品部長 室 大二郎



管

理部門、情報開示を担当しております田中秀和です。株主の皆様には、平素より格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。2009年度は、東京証券取引所市場第1部への市場変更実現に向けて最大限注力してまいりましたが、お陰をもちまして、12月18日に市場変更の承認を受け、これを実現いたしました。また、これに先立ち、8月には特定の株主からの自己株式の取得を行い、これの消却を実施し、資本効率の向上と株主価値の向上を図ってまいりました。今後も株主・投資家の皆様にとって、有益となるような施策を実行してまいりますので、これからも変わらぬ力強いご支援を賜りますよう、何卒よろしくお願い申し上げます。

執行役管理部長 田 中 秀 和



マ

ーケティング部門を担当しています鈴木雅哉です。2009年度におきましては、データマイニングツールの活用をより一層図ることで、従来1冊にまとめておりました「間接資材総合カタログ」を商品カテゴリ別に5冊に分冊化し、お客様ごとに最適な組み合わせを計算して送付することが可能になりました。また、カタログ発刊のタイミングに合わせて、ウェブサイトもカタログの構成に合わせて再構築いたしました。MonotaROの強みである幅広い品揃えとプライベートブランド商品をより多くのお客様にご利用いただけますよう、2010年度におきましても、カタログ・サイトの利便性向上はもちろん、引き続き、新たなお客様の開拓にも注力していく所存でございます。

執行役マーケティング部長 鈴木 雅 哉



企

画開発部門担当の金澤祐悟です。このたび新たに執行役に就任いたしました。企画開発部では、クラウドコンピューティングやクラウドソーシング(業務を分解しインターネットを通じて、多数の作業者にアウトソーシングすること)等の新しい手法を取り入れつつ、当社が築き上げてきた顧客・受注データベース基盤を活用し、ウェブサイトのユーザビリティ改善から新たなチャネルの開拓まで、事業化調査・プロトタイプ開発・テストマーケティング等の取り組みを行い、当社にとって新たな可能性をもたらす仕組みの開拓・開発を実施してまいります。今後ともご指導、ご鞭撻の程、よろしくお願い申し上げます。

執行役企画開発部長 金 澤 祐 悟



間接資材の流通を革新し、 ものづくりの現場で満足いただける 納期・価格・利便性を提供いたします。

MonotaROはインターネット通信販売で工場などの現場で使用される間接資材を販売しています。作業工具、切削工具、研磨材などの工業用資材、梱包・清掃・安全用品などの消耗品、新たに自動車整備業、建設・工事業向けの商品も加え、もの

づくりの現場で必要とされる約100万点にのぼる商品を、全国45万を超える事業所の皆様にご利用いただいています。

今後も品揃えと顧客数を拡張し、新たな購買のデファクトスタンダードを創造します。

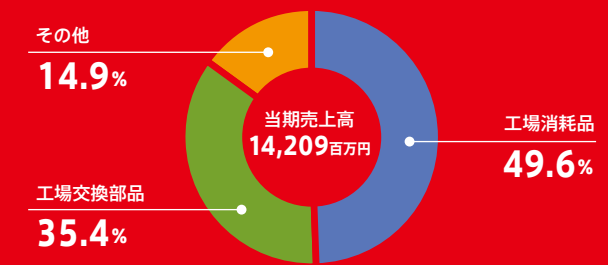


需要低迷が継続するなか
積極的な新規顧客開拓が業績に貢献しました。

当期は、依然厳しい経済環境が続くなかで既存顧客への売上は伸び悩んだものの、新規顧客の獲得に向けた精力的な取り組みが功を奏し、売上高は14,209百万円（前期比1.0％増）となりました。

一方、利益面では、前期において収益に大きく寄与した倒産会社からの仕入品の販売が一段落したことによる利益率の低下や、前期後半に開設した第2物流センター（住之江ディストリビューションセンター）の賃借料や人件費といった固定費の増加が影響し、営業利益は910百万円（前期比22.1％減）となりました。経常利益は東京証券取引所市場第1部への市場変更にとまなう費用もあり878百万円（前期比26.5％減）、当期純利益は税務上の繰越欠損解消による法人税などの税負担の発生により495百万円（前期比55.8％減）となりました。

▶▶ 品目別売上高構成比



取扱商品は、工場内で日常的に使用される消耗品や補修用品といった産業用間接資材を中心としています。産業用間接資材は企業において購買金額の割合が低い一方で、そのアイテム数は多岐にわたります。そのため、購買に際しては手間や時間をかけずに仕入れることが重視される傾向にあります。事業の品目別概況については以下の通りです。

工場
消耗品

マスク、作業工具、電動・空圧工具、塗装・養生用品の受注は好調に推移しました。しかしながら、切削工具、手袋、測定用品などの販売が振るわず、売上高は7,049百万円(前期比1.0%減)となりました。

主な取扱商品

◎はんだ関連商品◎電動・空圧工具◎スプレー・オイル・グリス◎メガネ◎切削工具◎ステンレス・アルミ製品◎塗装用品◎マスク◎安全用品◎清掃用品・洗剤◎安全靴・安全スニーカー◎静電気対策・クリーンルーム用品◎接着剤・補修材◎研磨材◎安全標識◎測定工具◎手袋◎作業工具

売上高

(単位:百万円)

期	売上高
第8期	5,817
第9期	7,119
第10期	7,049

工場
交換部品

前期から参入した自動車アフターマーケット向け自動車整備・トラック用品の売上が大きく寄与しました。これにより売上高は5,044百万円(前期比6.7%増)となりました。

◎梱包用品◎電気材料◎機械部品◎油圧機器◎ねじ・ボルト類◎コンプレッサー・カプラ・空圧機器・ホース・チューブ◎キャスター◎配管・継手・パルプ類◎ベアリング・伝動機器◎トラック用品◎テープ◎ポンプ・送風機◎制御機器◎荷役運搬機器

期	売上高
第8期	3,316
第9期	4,728
第10期	5,044

その他

前期から取扱いを始めた工事用品の受注は順調に増加したものの、空調設備、事務用品などの落ち込みを補いきることができず、売上高は2,115百万円(前期比4.7%減)となりました。

◎電池◎照明◎トナー・インク◎作業服◎事務用品

期	売上高
第8期	1,764
第9期	2,220
第10期	2,115

「東証1部」への市場変更が実現

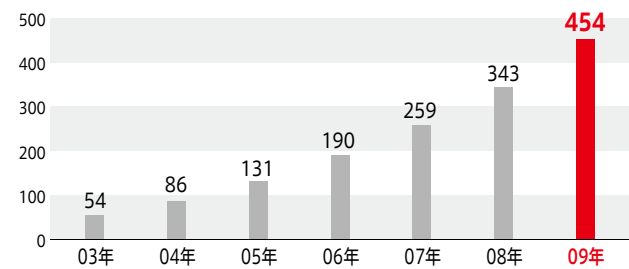
当社は去る12月18日に、かねてからの目標であった東京証券取引所市場第1部への上場市場の変更を実現することができました。これに先立ち、資本政策の大幅な見直しとして、大株主の異動や自己株式の取得および消却などを実施しています。その詳しい経緯は第10期中間報告書に掲載していますのでご参照ください。

新たに11万口座を獲得し、登録口座数は45万を達成

当期において新たに獲得した顧客数は11万口座となり、大幅な増加となりました。また、これによって登録口座数は2009年12月末時点で45万口座に達しました。

当社はインターネットを中心とするITの技術を日々進化させ、非効率な状態にある間接資材の流通業界を革新してまいりました。当社が提供するサービスを通して、便利で採算性の高い間接資材購買の実現に寄与し、顧客の生産性向上に貢献することをモットーとしています。これからも新規顧客の獲得に取り組み、幅広い製造の現場を支える存在としてさらなる浸透を目指してまいります。

▶▶ 登録口座数の推移 (千件)



東証1部への上場を機に、社名および当社サービスの知名度と、企業としての信頼度のさらなる向上を図っていくことが可能となりました。これを基盤としてこれからも業績の拡大をすすめ、かつ長期にわたって好業績を維持することにより、株主・投資家の皆様に利益を最大に享受していただけるよう努力を重ねてまいります。

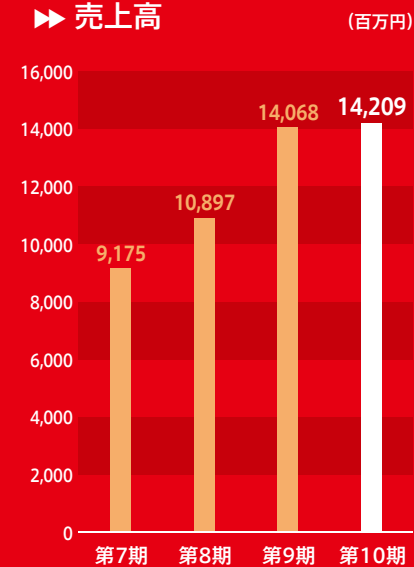
掲載商品数1万4000点 工事業向けカタログを創刊

当社は顧客の購買行動を細分化して分析し、そのニーズによりきめ細かく的確に対応する「One to Oneマーケティング」の一環として昨年10月にカタログの5分冊を行い、そのうち1冊に総掲載アイテム1万4000点をラインナップした工事業向けカタログを新たに発行しました。

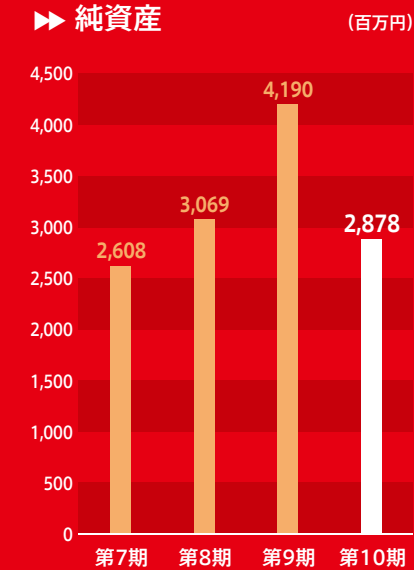
工事現場で必要とされる商品を網羅し、工具・道具類、関連用品、消耗品など13のカテゴリに分類して掲載。目的の商品に素早くたどりつける構成になっています。これに連動してウェブサイトにも「工事用品モール」をオープンさせ、商品販売体制がさらに充実しました。



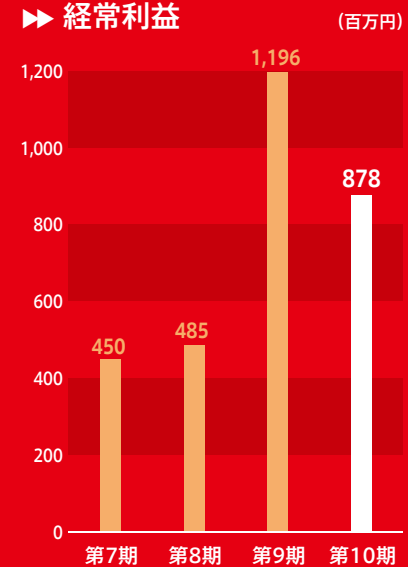
▶▶ 売上高



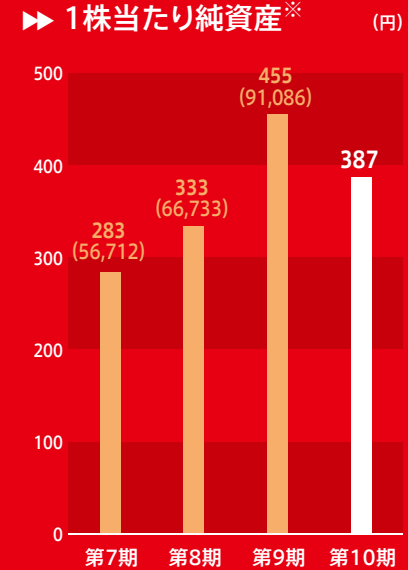
▶▶ 純資産



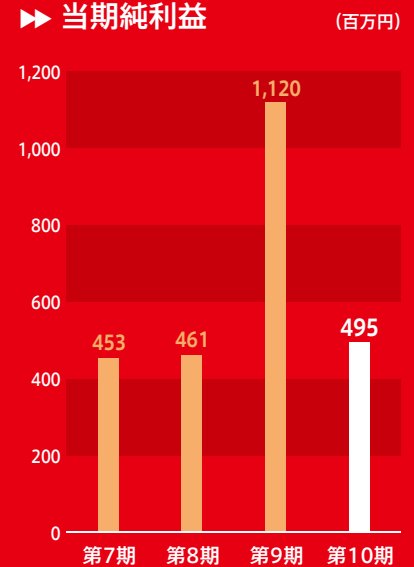
▶▶ 経常利益



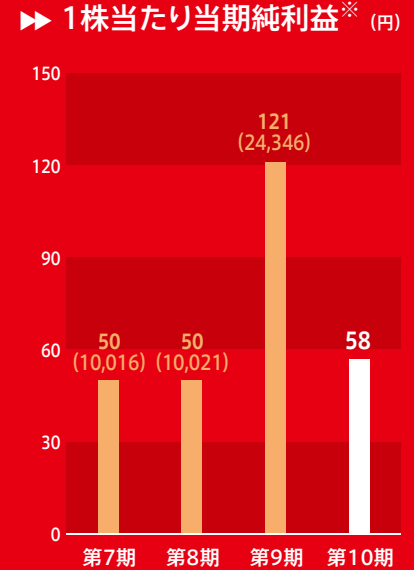
▶▶ 1株当たり純資産※



▶▶ 当期純利益



▶▶ 1株当たり当期純利益※



※当社は、平成21年5月21日付で普通株式1株につき200株の割合で株式分割を実施しております。「1株当たり純資産」「1株当たり当期純利益」の第9期以前の各期の数値は、当該株式分割に伴う影響等を加味した遡及修正値を使用しております。()内の数値は遡及修正前の数値です。

▶ 貸借対照表(要旨)

科 目	前期(第9期) 平成20年12月31日現在	当期(第10期) 平成21年12月31日現在
(資産の部)		
流動資産	5,466,201	5,119,981
現金及び預金	1,724,549	1,532,574
売掛金	1,611,242	1,684,975
たな卸資産	1,557,783	1,322,080
その他	593,063	597,847
貸倒引当金	△20,436	△17,499
固定資産	765,233	809,997
有形固定資産	203,991	169,304
無形固定資産	378,159	466,552
投資その他の資産	183,082	174,140
差入保証金	168,551	151,352
その他	24,515	41,072
貸倒引当金	△9,984	△18,286
資産合計	6,231,434	5,929,978

(単位：千円)

科 目	前期(第9期) 平成20年12月31日現在	当期(第10期) 平成21年12月31日現在
(負債の部)		
流動負債	2,040,543	3,051,603
支払手形及び買掛金	1,411,736	1,467,734
短期借入金	—	800,000
未払金	425,353	304,532
その他	203,454	479,333
負債合計	2,040,543	3,051,603
(純資産の部)		
株主資本	4,190,891	2,868,589
資本金	1,675,849	1,681,806
資本剰余金	480,387	486,344
利益剰余金	2,034,653	700,557
自己株式	—	△119
新株予約権	—	9,786
純資産合計	4,190,891	2,878,375
負債純資産合計	6,231,434	5,929,978

▶ 損益計算書(要旨)

科 目	前事業年度 自 20年 1月 1日 至 20年12月31日	当事業年度 自 21年 1月 1日 至 21年12月31日
売上高	14,068,391	14,209,103
売上原価	10,061,066	10,249,998
売上総利益	4,007,324	3,959,104
販売費及び一般管理費	2,838,061	3,048,787
営業利益	1,168,722	910,317
営業外収益	42,518	18,368
営業外費用	15,068	49,850
経常利益	1,196,172	878,835
特別損失	22,764	2,296
税引前当期純利益	1,173,407	876,538
法人税、住民税及び事業税	82,938	407,146
法人税等調整額	△29,543	△26,060
当期純利益	1,120,013	495,453

(単位：千円)

科 目	前事業年度 自 20年 1月 1日 至 20年12月31日	当事業年度 自 21年 1月 1日 至 21年12月31日
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,047,058	1,033,163
投資活動によるキャッシュ・フロー	△303,515	△208,220
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,050	△1,016,918
現金及び現金同等物の増減額(△減少額)	744,593	△191,975
現金及び現金同等物の期首残高	979,955	1,724,549
現金及び現金同等物の期末残高	1,724,549	1,532,574

▶ 株主資本等変動計算書

当会計期間(自 平成21年1月1日 至 平成21年12月31日)

(単位：千円)

	株主資本							新株予約権	純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金			自己株式	株主資本合計		
		資本準備金	利益準備金	その他利益剰余金 繰越利益剰余金	利益剰余金合計				
前期末残高	1,675,849	480,387	—	2,034,653	2,034,653	—	4,190,891	—	4,190,891
当期変動額									
新株の発行	5,956	5,956					11,913		11,913
利益準備金の積立			23,005	△23,005	—		—		—
剰余金の配当				△230,050	△230,050		△230,050		△230,050
当期純利益				495,453	495,453		495,453		495,453
自己株式の取得						△1,599,619	△1,599,619		△1,599,619
自己株式の消却				△1,599,500	△1,599,500	1,599,500	—		—
株主資本以外の項目（純額）								9,786	9,786
当期変動額合計	5,956	5,956	23,005	△1,357,101	△1,334,096	△119	△1,322,302	9,786	△1,312,515
当期末残高	1,681,806	486,344	23,005	677,552	700,557	△119	2,868,589	9,786	2,878,375

▶ 会社概要 (2009年12月31日現在)

社名	株式会社 MonotaRO (英文名 MonotaRO Co.,Ltd.)
本社	兵庫県尼崎市西向島町231番地の2 GLP尼崎3F
物流センター	第1: 兵庫県尼崎市西向島町231番地の2 GLP尼崎3F 第2: 大阪府大阪市住之江区柴谷2-8-76 ロジポート1F
設立	2000年10月
資本金	16億8,180万円
従業員数	303名
主要な事業内容	インターネット等を利用した工場用間接資材の販売

▶ 株式の状況

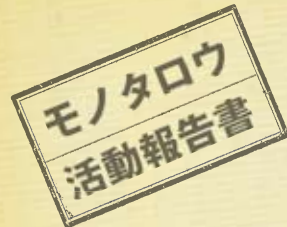
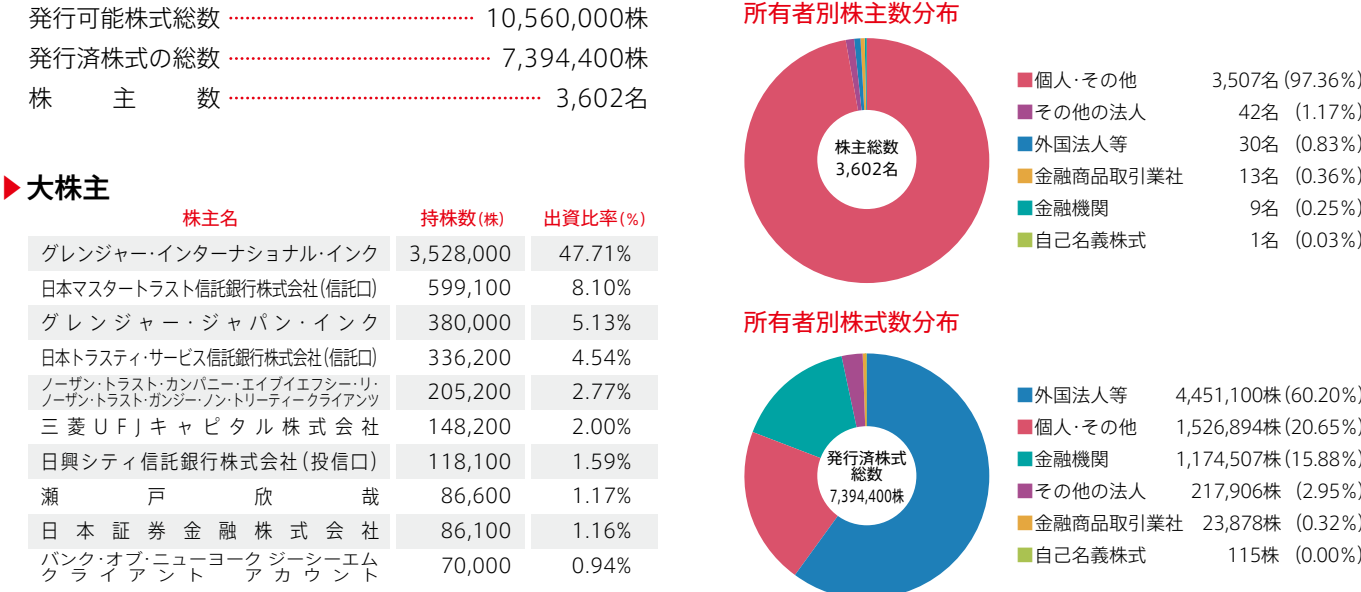
発行可能株式総数	10,560,000株
発行済株式の総数	7,394,400株
株主数	3,602名

▶ 大株主

株主名	持株数(株)	出資比率(%)
グレンジャー・インターナショナル・インク	3,528,000	47.71%
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	599,100	8.10%
グレンジャー・ジャパン・インク	380,000	5.13%
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	336,200	4.54%
ノーザン・トラスト・カンパニー・エイビエフシー・リ・ ノーザントラスト・ガンジー・ノントリーティークライアンツ	205,200	2.77%
三菱UFJキャピタル株式会社	148,200	2.00%
日興シティ信託銀行株式会社(投信口)	118,100	1.59%
瀬戸欣哉	86,600	1.17%
日本証券金融株式会社	86,100	1.16%
バンク・オブ・ニューヨーク・ジーシーエム クライアント・アカウント	70,000	0.94%

▶ 役員 (2010年3月29日現在)

取締役兼 代表執行役社長	瀬戸欣哉
取締役	宮島正敬
取締役	山形康郎
取締役	喜多村晴雄
取締役	Joseph A. McCluskey (ジョセフ・エイ・マクラスキー)
常務執行役	室大二郎
執行役	田中秀和
執行役	鈴木雅哉
執行役	金澤祐悟



モノタロウ MonotaR が行く!

より多くの皆さまに愛されるキャラを目指して日々ガンバル
モノタロウの活動をちょこっとご紹介いたします!

ゆるキャラ®まつりin彦根に参加!



2009年10月23日から25日の3日間、滋賀県の彦根市で開催された
「ゆるキャラ®まつりin彦根〜キブルのミさみと2009〜」に参加してきました。
今年で2回目の開催となるこのお祭りには7万人を超える人たちが来場し、
「ゆるキャラ®」名称の生みの親であるみうらじゅんさんも登場!大いに盛り上がりました。
モノタロウはたくさんのゆるキャラ®たちとふれあい、ブースの販売也大盛況でした。



第4回 ゆるキャラ®カップin鳥取砂丘で大健闘!

「ゆるキャラ®まつりin彦根」からわずか1週間後の11月1日、

鳥取県で開催された「第4回ゆるキャラ®カップin鳥取砂丘」に出場
しました。モノタロウの参加は今回で2度目。1年ぶりに再会した
「ゆる友」と友情を確かめあったり、ダンスや競技で楽しいひとときを
過ごしました。そしてなんと障害物競争の予選では第1位に!



しかし、そのあと天候が悪化してイベントは中止…。

次はきっと優勝だ!がんばれモノタロウ!!



モノタロウの活躍が詳しくご覧いただけます!
<http://www.monotaro.com/topic/monotaro/>

モノタロウ MonotaRO

<http://www.monotaro.com>

ホームページのご案内

事業者向けサイトのほか、消費者向けサイト、
モバイルサイトなどをオープンしています。
「IR情報」のページには投資家の皆様への情報を
掲載しています。



株主メモ

事業年度	1月1日から12月31日まで
定時株主総会	3月中
基準日	定時株主総会 12月31日 期末配当金 12月31日
株主名簿管理人 特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同 連 絡 先	三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部 〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号 Tel. 0120-094-777（通話料無料）
上 場 証 券 取 引 所	東京証券取引所市場第1部

公 告 方 法

電子公告

当社ホームページURL
<http://www.monotaro.com>

ただし事故その他やむを得ない事由によって
電子公告することができない場合は、日本経済
新聞に掲載して行います。

ご 注 意

- 1 株券電子化に伴い、株主様の住所変更、その他各種手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 2 特別口座に記録された株式に関する各種手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国本支店でもお取次ぎいたします。
- 3 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。